

鼻咽頭検査PCR検査方法

【メリット】

PCR検査とは、ウイルス遺伝子を増やして行う検査です。
鼻咽頭検査は唾液検査に比べ感度が高いといわれています。

渡航される場合は、国によって鼻咽頭検査を
指定している場合がございます。
(ベトナム、カンボジアなど 2020,9,18現在)



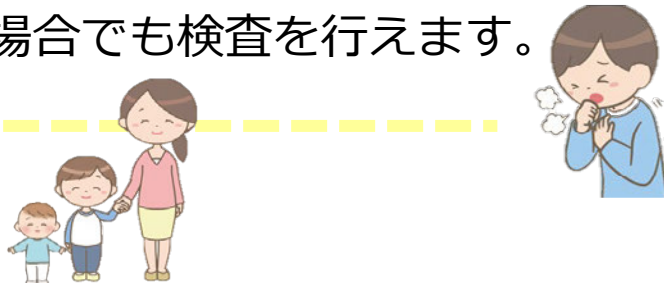
検査前の飲水制限や歯磨き、うがいなどの制限なし。
(唾液検査の場合は、制限があります。)



唾液が出にくい場合に検査時間を要しますが、
鼻咽頭検査は時間がかかりません。



発熱、のどの痛みなど症状がある場合でも検査を行えます。
(発症から9日以上でも検査可能)



小児や乳幼児の検査も行えます。

PCR検査の結果判明までの時間は鼻口腔も唾液も2~3日かかるため、大きな差はありません。

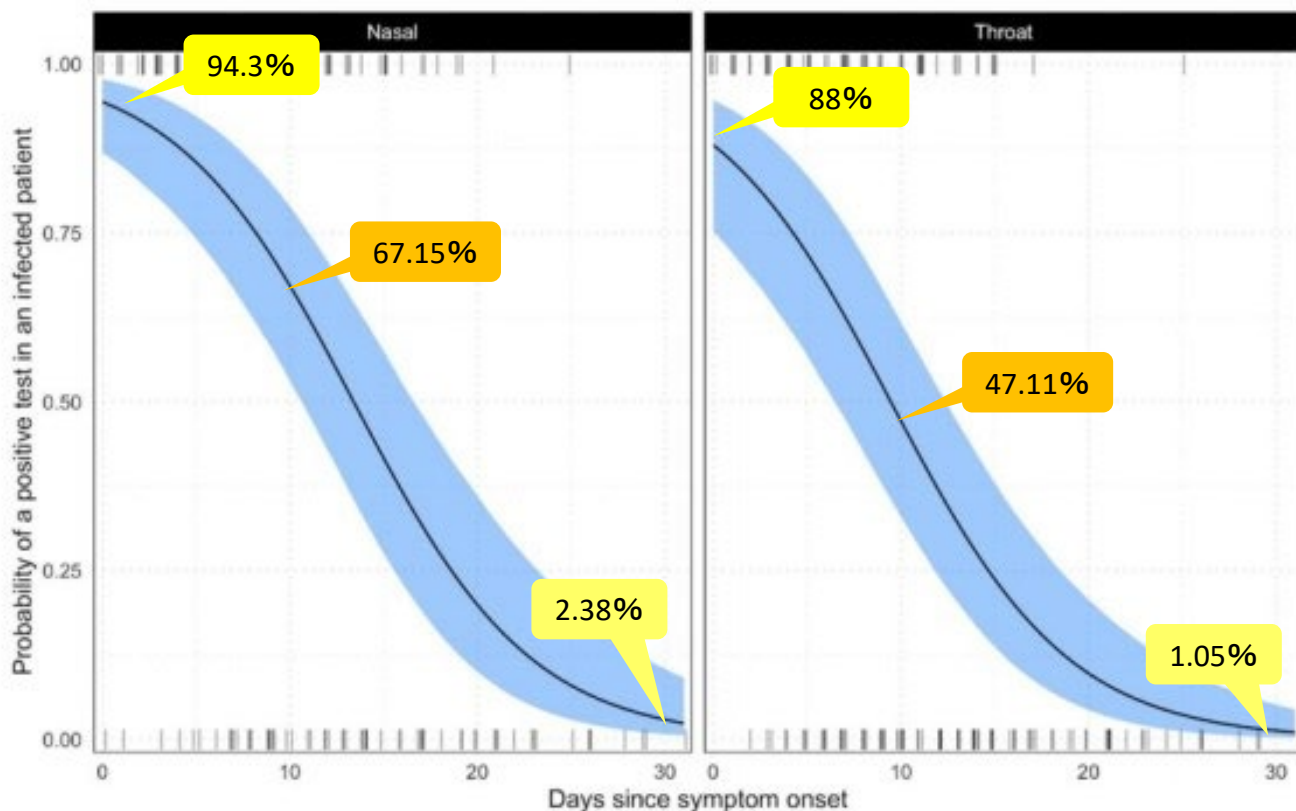
【デメリット】

咽頭まで検査キットを入れるため、人によっては強い痛みを感じることがあります。咳などを誘発しやすいため、飛沫感染のリスクに対応出来ない場所では検査を行うことが難しいとされています。(当院ではリスク対策を実施しています。)



鼻咽頭検査と唾液検査を比べると？

・ Wikramaratna ¹らは、感染直後のPCR検査では、鼻腔からの検体は、咽頭からの検体よりも、**6.39%**、高く陽性を示すことが明らかとなりました。（時間とともに、陽性割合は下がることも明らかにしています。）



・ 鼻腔からの検体によるPCR検査の陽性割合が、発症日で94.39%、発症10日後では、67.15%、発症31日後では2.38%でした。咽頭からの検体では、発症日で88%、発症10日後で、47.11%、発症31日後では、1.05%と推定しています。

文献

Wikramaratna P, Paton RS, Ghafari M, Lourenco J. Estimating false-negative detection rate of SARS-CoV-2 by RT-PCR. *medRxiv*. 2020:2020.2004.2005.20053355.

<https://www.medrxiv.org/content/10.1101/2020.04.05.20053355v2>



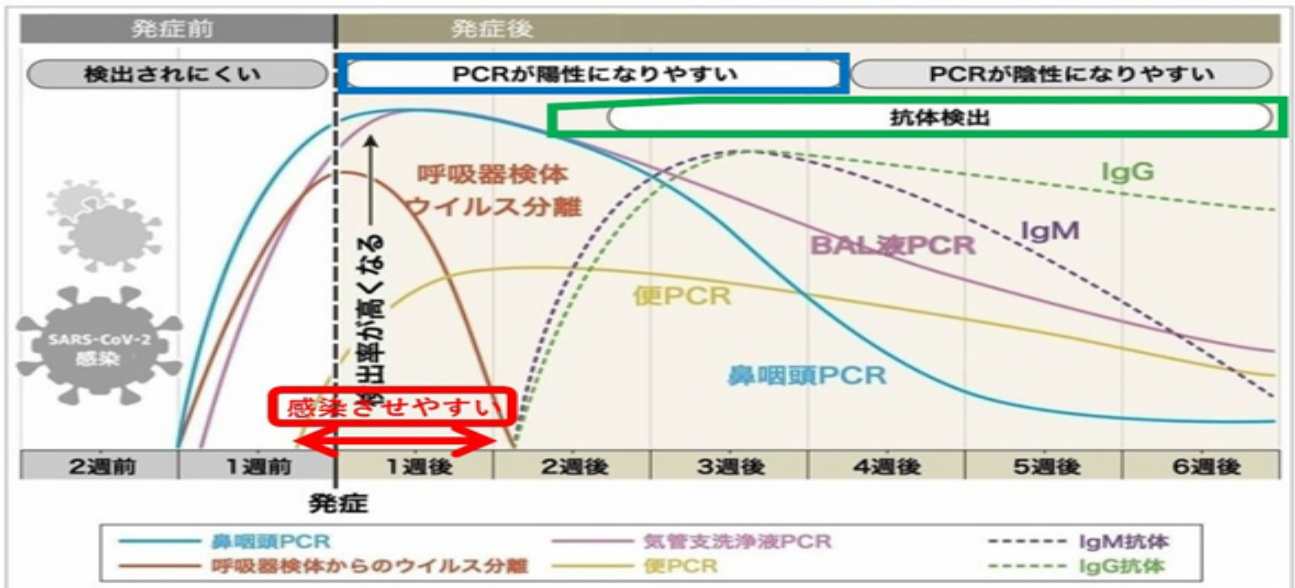
PCR検査以外の方法はどのようなの？

新型コロナウイルスの検査方法には3種類あり、検査採取方法に鼻咽頭と唾液の2種類あります。

| 検査の対象者 | | PCR検査 (LAMP法含む) | | 抗原検査 (定量) | | 抗原検査 (簡易キット) | |
|-------------------|------------|-----------------|-----------------|-----------|-----------------|--------------|--------|
| | | 鼻咽頭 | 唾液 | 鼻咽頭 | 唾液 | 鼻咽頭 | 唾液 |
| 有症状者 (症状消退者含む) | 発症から9日目以内 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ (※1) | × (※2) |
| | 発症から10日目以降 | ○ | × | ○ | × | △ (※3) | × (※2) |
| 無症状者 | | ○ | X→○ (7月17日~) | ○ | X→○ (7月17日~) | × (※2) | × (※2) |

- ※1：抗原検査（簡易キット）については、発症2日目から9日目以内
- ※2：検査メーカーにおいて有症状唾液については大学と共同研究中、無症状者については共同研究予定。
- ※3：使用可能だが、陰性の場合は鼻咽頭PCR検査を行う必要あり

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000649879.pdf>



発症からの日数とPCR検査、抗体検査、ウイルス分離の陽性率 (doi:10.1001/jama.2020.8259より)

(出所) <https://jamanetwork.com/journals/jama/fullarticle/2765837>

(出所) <https://news.yahoo.co.jp/byline/kutsunasatoshi/20200517-00178720/>

・PCR検査と抗原・抗体検査でも「正しいタイミングで使うこと」と「正しく結果を解釈できること」が求められます。しかし、検査は万能ではありませんので、それぞれの使い所、長所、短所を理解し、検査の限界を知った上で上手く使い分けることが重要です。

・唾液検査では発症9日以上は検査をしても的確な結果とならないといわれているため、タイミングを考える必要がありますが、鼻咽頭検査では9日以上であっても結果が得られるとされています。

